

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月10日

上場会社名 株式会社 オーハシテクニカ
 コード番号 7628 URL <http://www.ohashi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前川 富義
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 穂満 敏朗
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

TEL 03-5321-3415

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	29,766	—	1,589	—	1,603	—	780	—
20年3月期第3四半期	32,008	23.8	2,362	20.0	2,529	19.9	1,521	20.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	44.05	—
20年3月期第3四半期	80.58	80.51

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	26,420	14,895	55.7	942.26
20年3月期	31,356	17,869	56.4	936.12

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 14,724百万円 20年3月期 17,682百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
21年3月期	—	10.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

平成21年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。(「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」欄をご覧ください。)

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	△18.5	1,300	△57.4	1,100	△65.8	450	△75.2	26.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 18,390,040株 20年3月期 18,890,040株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 2,763,070株 20年3月期 886株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 17,718,320株 20年3月期第3四半期 18,879,503株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月10日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において業績予想の修正を行っております。

2. 当期の期末配当金につきましては、通期の業績予想を下方修正すること並びに来期以降の経営環境が不透明であることから、現時点では未定とし、今後の業績動向、財務体質及び資金需要等を総合的に勘案した上でご提案させていただきます。

3. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

4. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考)個別業績予想

平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	△19.7	600	△61.5	1,200	△42.9	600	△55.4	34.88

(注)個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成20年4月1日～平成20年12月31日）のわが国経済は、米国発の金融不安が世界の实体经济に波及し急速に景気の失速感が強まる中で、企業収益や個人消費の落ち込み等、景気悪化が一段と進行いたしました。

主要取引先である自動車業界におきましても、輸出の鈍化や個人の購入意欲の落ち込みを背景として自動車生産・販売計画の縮小や在庫調整が急速に進む中、経営を取巻く環境はかつてない厳しいまま推移しております。

このような状況下、当社グループは総力を結集して各種施策に取り組み、業績の拡大と経営基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、297億6千6百万円、営業利益15億8千9百万円、経常利益16億3百万円、四半期純利益7億8千万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、現金及び預金、受取手形及び売掛金等の流動資産の減少等により、前連結会計年度末比49億3千5百万円減少し264億2千万円となりました。

負債の残高は、支払手形及び買掛金、未払法人税等及び役員退職慰労引当金の減少に伴い、前連結会計年度末比19億6千1百万円減少し115億2千5百万円となりました。

純資産の残高は、自己株式が増加、評価・換算差額等が減少した結果、148億9千5百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ44億2千万円減少し32億5千5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、6億6千9百万円の資金の減少となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益が14億6千3百万円、売上債権は11億2千5百万円減少となりましたが、たな卸資産が15億3千6百万円増加、仕入債務が9億4千8百万円減少及び法人税等の支払が11億5百万円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は8億4千4百万円となりました。

これは主に、固定資産の取得7億7千5百万円、投資有価証券の取得1億4百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は27億2千8百万円となりました。

これは主に、自己株式取得による支出が23億1千2百万円、配当金の支払が3億7千4百万円あったことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

米国発の金融危機を発端として金融不安が世界各国に拡大し、实体经济面でも世界全体で一段の景気減速が予想されております。自動車業界におきましては、国内外における日系自動車メーカーの生産縮小と在庫調整が行われ、また為替市場では想定を上回って円高に推移していることにより、業績に多大な悪影響を及ぼす見通しです。加えて、投資有価証券の評価損の計上等により、平成21年3月期通期の連結及び個別業績予想は、前回公表した（平成20年11月10日）予想値を大幅に下回る見込みであります。

（注）上記予想値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当第3四半期連結会計期間において、重要な子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

当社及び国内連結子会社は、従来、主として移動平均法又は先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として移動平均法又は先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ18,892千円減少しております。

③ 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号 平成18年5月17日）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,163千円減少しております。

(追加情報)

① 有形固定資産の耐用年数の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正を契機として、有形固定資産の利用状況を見直した結果、第1四半期連結会計期間より、その一部について、改正後の法人税法に基づく耐用年数を採用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ13,283千円減少しております。

② 役員退職慰労金制度の廃止

当社は、従来、役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、平成20年3月19日開催の取締役会及び監査役会において、役員の退職慰労金制度を廃止することを決議いたしました。また、平成20年6月19日開催の定時株主総会において、同総会終結時までの在任期間に対応する退職慰労金を各役員の退任時に支払うことが決議されました。

これにより、第1四半期連結会計期間において、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打ち切り支給額を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、当第3四半期連結会計期間末の固定負債の「その他」に含まれる役員退職慰労金の未払金額は71,105千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,255,524	7,675,922
受取手形及び売掛金	8,084,563	9,478,112
商品及び製品	4,347,297	3,134,213
仕掛品	282,300	316,958
原材料及び貯蔵品	575,429	534,483
繰延税金資産	298,867	306,853
その他	412,979	322,724
貸倒引当金	△15,398	△22,601
流動資産合計	17,241,563	21,746,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,675,632	2,591,484
減価償却累計額	△818,620	△815,001
建物及び構築物（純額）	1,857,012	1,776,483
機械装置及び運搬具	4,687,696	4,702,067
減価償却累計額	△2,178,012	△2,197,095
機械装置及び運搬具（純額）	2,509,684	2,504,972
工具、器具及び備品	2,871,105	2,807,544
減価償却累計額	△2,377,636	△2,257,596
工具、器具及び備品（純額）	493,469	549,948
土地	654,489	748,850
建設仮勘定	148,864	316,624
有形固定資産合計	5,663,519	5,896,880
無形固定資産		
のれん	717,627	807,834
ソフトウェア	244,419	293,322
その他	140,601	112,137
無形固定資産合計	1,102,648	1,213,294
投資その他の資産		
投資有価証券	340,336	372,230
繰延税金資産	365,574	403,583
長期預金	600,000	600,000
その他	1,111,222	1,132,411
貸倒引当金	△3,957	△8,263
投資その他の資産合計	2,413,175	2,499,960
固定資産合計	9,179,343	9,610,135
資産合計	26,420,906	31,356,802

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間末
(平成20年12月31日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,907,983	10,657,950
未払法人税等	75,521	600,777
賞与引当金	118,182	208,453
役員賞与引当金	57,000	80,000
その他	680,163	934,371
流動負債合計	10,838,850	12,481,552
固定負債		
退職給付引当金	555,308	545,796
役員退職慰労引当金	—	334,126
繰延税金負債	13,784	—
その他	117,588	125,536
固定負債合計	686,681	1,005,460
負債合計	11,525,532	13,487,012
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,825,671	1,825,671
資本剰余金	1,611,444	1,611,444
利益剰余金	13,416,561	13,372,885
自己株式	△1,958,727	△953
株主資本合計	14,894,950	16,809,048
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△6,054	9,446
為替換算調整勘定	△164,154	863,936
評価・換算差額等合計	△170,208	873,382
新株予約権	3,360	—
少数株主持分	167,272	187,358
純資産合計	14,895,374	17,869,789
負債純資産合計	26,420,906	31,356,802

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	29,766,579
売上原価	23,251,184
売上総利益	6,515,395
販売費及び一般管理費	4,926,139
営業利益	1,589,255
営業外収益	
受取利息	43,077
受取賃貸料	18,783
作業くず等売却収入	40,783
その他	34,193
営業外収益合計	136,838
営業外費用	
為替差損	83,527
その他	38,579
営業外費用合計	122,106
経常利益	1,603,987
特別利益	
貸倒引当金戻入額	5,810
その他	964
特別利益合計	6,775
特別損失	
投資有価証券評価損	109,848
ゴルフ会員権評価損	20,689
その他	16,253
特別損失合計	146,791
税金等調整前四半期純利益	1,463,971
法人税、住民税及び事業税	592,543
法人税等調整額	73,437
法人税等合計	665,980
少数株主利益	17,480
四半期純利益	780,509

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3 四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,463,971
減価償却費	791,250
のれん償却額	71,181
固定資産売却損益 (△は益)	△22
固定資産除却損	12,675
投資有価証券評価損益 (△は益)	109,848
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△10,927
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	9,512
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△334,126
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△88,233
受取利息及び受取配当金	△48,062
支払利息	7,637
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23,000
売上債権の増減額 (△は増加)	1,125,290
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,536,842
その他投資の増減額 (△は増加)	20,146
仕入債務の増減額 (△は減少)	△948,565
その他	△224,274
小計	397,456
利息及び配当金の受取額	46,303
利息の支払額	△7,637
法人税等の支払額	△1,105,691
営業活動によるキャッシュ・フロー	△669,569
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△729,735
有形固定資産の売却による収入	41,179
無形固定資産の取得による支出	△45,433
無形固定資産の売却による収入	102
投資有価証券の取得による支出	△104,089
貸付けによる支出	△13,857
貸付金の回収による収入	7,641
投資活動によるキャッシュ・フロー	△844,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△45,815
自己株式の取得による支出	△2,312,222
配当金の支払額	△374,003
新株予約権の発行による収入	3,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,728,681
現金及び現金同等物に係る換算差額	△177,954
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,420,398
現金及び現金同等物の期首残高	7,675,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,255,524

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	自動車関連 部品事業 (千円)	情報・通信 関連部品事 業 (千円)	その他関連 部品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高	27,614,155	1,243,202	909,221	29,766,579	—	29,766,579
営業利益	2,321,352	39,749	145,556	2,506,658	(917,402)	1,589,255

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品・商品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品

事業区分	主要製品・商品
自動車関連部品事業	エンジン関連部品、車体組立用締結部品等
情報・通信関連部品事業	携帯電話関連部品、ゲーム機関連部品
その他関連部品事業	O A関連部品、その他関連部品

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (千円)	アメリカ (千円)	タイ (千円)	英国 (千円)	中国 (千円)	フィンラ ンド (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高	22,262,633	6,412,660	2,729,598	1,556,874	1,724,626	83,059	34,769,452	(5,002,873)	29,766,579
営業損益	1,819,834	308,574	438,092	179,339	△30,176	9,823	2,725,488	(1,136,233)	1,589,255

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	アメリカ	アジア	ヨーロッパ	計
I 海外売上高（千円）	6,422,718	4,335,355	1,691,700	12,449,774
II 連結売上高（千円）				29,766,579
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	21.6	14.5	5.7	41.8

（注）1. 国又は地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……………タイ、中国、マレーシア、ベトナム、インドネシア等

ヨーロッパ……英国、フィンランド、ベルギー、スペイン、ハンガリー等

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成20年4月1日から平成20年12月31日において、平成20年3月19日開催の取締役会決議及び平成20年10月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、自己株式が2,312,222千円増加しております。また、平成20年10月24日において、平成20年10月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の消却を行い、自己株式及び利益剰余金が354,448千円減少しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,958,727千円となっております。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	32,008,415
II 売上原価	24,728,660
売上総利益	7,279,755
III 販売費及び一般管理費	4,917,192
営業利益	2,362,562
IV 営業外収益	196,957
V 営業外費用	30,172
経常利益	2,529,347
VI 特別利益	31,009
VII 特別損失	52,791
税金等調整前四半期純利益	2,507,565
法人税、住民税及び事業税	912,301
法人税等調整額	49,390
少数株主損益	24,530
四半期純利益	1,521,343

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,507,565
減価償却費	846,380
のれん償却額	68,017
固定資産売却益	△8,834
固定資産除却損	24,600
固定資産売却損	150
投資有価証券評価損	14,535
貸倒引当金の増減額	△11,873
退職給付引当金の増減額	△11,301
役員退職慰労引当金の増減額	△55,683
賞与引当金の減少額	△78,847
役員賞与引当金の増減額	△19,880
受取利息及び受取配当金	△70,288
売上債権の増加額	△766,239
たな卸資産の増減額	△145,549
その他投資の増減額	△112,858
仕入債務の増減額	661,444
その他	117,454
小計	2,958,793
利息及び配当金の受取額	70,917
法人税等の支払額	△1,152,799
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,876,911
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,621,637
有形固定資産の売却による収入	17,746
無形固定資産の取得による支出	△15,837
投資有価証券の取得による支出	△2,772
貸付けによる支出	△8,497
貸付金回収による収入	8,563
長期性預金の払戻による収入	500,000
新規連結子会社の取得による支出	△835,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,958,049
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	23,000
短期借入金の返済による支出	△19,400
長期リース債務の支払による支出	△48,884
配当金の支払額	△377,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△422,607
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,667
V 現金及び現金同等物の減少額	△509,412
VI 現金及び現金同等物の期首残高	6,641,089
VII 現金及び現金同等物の期末残高	6,131,676

(3) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	自動車関連 部品事業 (千円)	情報・通信関 連部品事業 (千円)	その他関連 部品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	28,943,028	1,919,945	1,145,441	32,008,415	—	32,008,415
営業費用	26,171,141	1,704,220	941,833	28,817,195	828,657	29,645,853
営業利益	2,771,887	215,725	203,608	3,191,220	(828,657)	2,362,562

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

	日本 (千円)	アメリカ (千円)	タイ (千円)	英国 (千円)	中国 (千円)	フィンランド (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	24,110,515	7,044,955	2,803,708	1,574,847	1,524,540	77,162	37,135,730	(5,127,314)	32,008,415
営業費用	22,058,206	6,522,040	2,375,325	1,315,966	1,562,026	68,553	33,902,119	(4,256,266)	29,645,853
営業利益	2,052,308	522,915	428,383	258,880	△37,486	8,608	3,233,611	(871,048)	2,362,562